



平成28年7月29日

各位

会社名 大倉工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高濱 和則
 (コード: 4221 東証第1部)
 問合せ先 代表取締役常務取締役コーポレートセンター担当
 兼経理部長 豊田 員史
 (TEL. 0877-56-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年7月29日開催の取締役会において、以下の通り、最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年2月12日に公表した業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,500	1,020	1,020	500	8.38
今回修正予想(B)	42,500	2,100	2,000	1,400	23.48
増減額(B-A)	1,000	1,080	980	900	
増減率(%)	2.4	105.9	96.1	180.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期第2四半期)	41,878	1,181	1,134	752	12.62

(2) 平成28年12月期連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,500	2,400	2,400	1,250	20.96
今回修正予想(B)	84,500	3,150	3,000	2,000	33.54
増減額(B-A)	△1,000	750	600	750	
増減率(%)	△1.2	31.3	25.0	60.0	
(ご参考)前期実績 (平成27年12月期)	85,996	2,354	2,326	1,191	19.98

(3) 修正の理由

平成28年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、売上高は、合成樹脂事業においてシュリンクフィルムを中心に販売数量が増加したこと、利益面では、同事業において原料価格が低下したうえにコスト削減にも努めたことなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回発表予想を上回る見込みです。

また、平成28年12月期通期連結業績予想につきましても、平成28年12月期第2四半期連結累計期間の業績見込みに、わが国経済が先行き不透明な状況となってきた現状を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益をそれぞれ修正いたします。親会社株主に帰属する当期純利益は固定資産の譲渡に伴う特別利益を計上する見込みですが、構造改革に伴う固定資産除売却損等の計上を検討していることから、それらを織り込んで修正いたします。なお、今後修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。

以 上